



ニュースレター あすか

2013
4月号

通算 241号

2013年4月10日

平成25年度 医療法人あすか 入社式

日時 平成25年4月4日(木)
場所 本通り アンデルセン



理事長の挨拶



新入職員代表
山田さんの挨拶

4月5日は医療法人あすかの入社式でした。会場のアンデルセンに一步入ったら、そこは春がいっぱいでした。香ばしいパンのにおい、色とりどりの美味しいそうなパンやお惣菜、世界の珍しいチーズやハム、店内の花売り場には、スイートピー、フリージア、チューリップなどのたくさんの春の花、やさしい笑顔で接客しているスタッフの姿、幸せな春の訪れを満喫しながら会場に行きました。

入社式は、4月入社職員の職員と今年1月から3月までに入社された職員を合わせて行いました。介護職、保育士、看護師、栄養士、理学療法士、臨床心理士とさまざまな職種

の職員をお迎えしました。新入職員を代表しての挨拶は介護福祉士、園芸療法士の山田勝さんでした。いったん社会人となったあと一念発起して介護の世界に飛び込んだこと、園芸との出会い、これからの夢などを力強いメッセージで伝えてくださいました。

理事長からのお祝いとお祝いの挨拶は、NHKアナウンサー加賀美幸子さんが若い頃、「あなたに恵まれない時期に、彼女は謙虚にプロの仕事をしようと決意し心底力を込め仕事に向き合っていました。そんな彼女を見ていた某氏が「謙虚に堂々です」と言ってくれた。この言葉がいつも彼女の応援の言葉となっているというお話を紹介しながら新入職員へ、地味でも「謙虚に堂々」と



今年4月入社のみなさん

(2ページへ続く...)

“ニュースレターあすか”は当法人のホームページ上でも
見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

発行元：医療法人あすか
(編集：新宅 佳那子)

住所：〒731-0103
広島市安佐南区
緑井2丁目12-25
TEL:082-879-3143
FAX:082-879-3190



当法人は、
ISO9001の認証施設です

【目次】

【ページ】

- 1. 平成25年度 入社式..... 1
- 平成25年度 入社式(続き)..... 2
- 2. 頭の体操
- 3. あすかの施設管理..... 3
- 4. 事業所だより(いわや、まやる)..... 4
- 5. 事業所だより(みどりい)..... 5
- 6. 作品紹介(まやる)
- 7. おもしろきかな我が人生..... 6
- ～木村 貴美江さま～
- 8. 若竹句会 2月・3月作品..... 7
- 9. 児童デイサービス『ぱる』のご紹介..... 8

(…1ページからの続き)

自分の人生を切り拓いていこうと語りかけました。

また、永年勤続者と無事故無違反運転者の表彰を行いました。あすかが地域に信頼される法人として存在することができているのは、このような素晴らしい多くの職員に支えられているからなのだと思ってきました。また、3月31日は介護福祉士の合格発表の日でした。あすかでは、14名もの職員が介護福祉士の試験に合格し入社が合格者のお祝いの会にもなりました。歓迎会では趣向をこらしたゲームに笑いこぼれ、まやるちよーくの阿川愛美さんのクラリネット演奏、東日本大震災の応援歌『花は咲く』に胸がジーンと熱くなりました。

アンデルセンの美味しいお料理を楽しみながら、さわやかで温かい入社式を終えることができました。
(高橋真弓)



ちよつとブレイク 頭の体操 国語

久しぶりに頭の体操はいかがですか？今月は数字入りの四字熟語を集めてみました。□の中には一から十までの漢数字が入ります。おなじみの熟語から難しそうな熟語まで……。あなたはいくつわかりますか？サービス問題もありますよ～♪ 答えは最後のページです。

- ①□面楚歌…助けがなく、周囲が敵や反対者ばかりであること。
- ②面壁□年…九年間の長い間、壁に向かって座禅を組んで修行すること。転じて、一つの目的に長い歳月をかけて心を傾け、努力するたとえ。
- ③遮□無□…後先のことを考えず、まただがむしやりに物事に取り組むこと。無鉄砲。周囲の状況に目を配らず強引に事を進めること。
- ④□人□色…人それぞれの考え方や好みには違いがあるということ。人の考え方や好みは十人いれば十人も違っているということ。
- ⑤□方美人…どこから見ても美しい人。転じて、誰にも悪く思われないように要領よくふるまうこと。
- ⑥□日天下…政権や実権を握っている期間が非常に短いことのたとえ。
- ⑦□期□会…一生に一度の出会いのこと。また、そのことが生涯に一度限りであることを表し、人との出会いなどの機会を大切にすることのたとえ。
- ⑧□穀豊穰…穀物が豊かに実ること。
- ⑨□根清浄…人間の欲望や迷いを断ち切って、心身を安らかに保つこと。
- ⑩□転□起…何度倒されても、その度に屈せず起き上がること。



あすかの 施設管理



施設管理室室長
大北 博章
おおきた ひろあき

【施設管理室を設置しました】

施設管理室の大北博章です。
今まで建設会社・設計事務所等建築設計・ビルメンテナンスなどの仕事に携わってきました。医療法人あすかでは施設管理・防災にさらに力を入れることになり、平成25年1月施設管理室が設けられ、これらの仕事の責任者として仕事をしています。医療法人あすかでは、患者様、利用者様、皆様に安全、安心な医療・看護・介護を受けていただけるよう、職員一同が日々努力を重ねていますが施設管理室は、そのサービスの場である建物全体の維持管理と安全、安心の環境整備を主な任務としています。

【あすかの消防設備】

今回はあすかでの消防設備についてご紹介させていただきます。
あすかの施設は多数ありますが、どの建物もその規模に依りて、消防法の規定による消防設備を備えています。

【自動通報装置】

まず、火災が起きた時にいち早く施設中に知らせるための設備が自動火災報知設備です、緑井や療養センターでは、消防所に自動通報するようになっています。火災が発生するとスピーカから「火事です。〇階で火事です。」と、音声で館内に知らせます。

【スプリンクラー】



また、火災は初期に消火することが大変効果的です。そのために、皆様が過ごされている各部屋には、スプリンクラー設備が設置してあります。これは、ある一定の温度以上になると、天井につけている熱を感じる部分が溶けて、消火用に水が噴き出す設備です。噴き出す水は貯水槽に蓄えられていますので、日頃から槽内の水位や、水を送るポンプに異常がないか、各部屋の噴き出し口の近くに邪魔な物がないか点検をしています。

【防火扉】

また、火災が広がらないように要所要所に防火戸が設置され、被害を最小限に抑える構造となっています。効果的に火を遮るための、重い鉄製の扉ですから日頃の開け閉めには向きませんが、いざという時に大事な役割を果たしてくれます。また天井や壁、カーテンには火災に対して一定の認定を受けた材料を使用しています。

このように、施設ではいざという時に備え、何重もの備えがありますが、それぞれの機設備がきちんと機能するよう日頃のメンテナンスを進めています。

ですが、本当は火災を起こさないようにすることが最も大切なことです。そのためには、日頃の生活の中で気を付けなければいけないことがあります。施設では、様々な機器を使用しています。これらが原因の火災のニュースが後を絶ちません。つい先日にも長崎の認知症高齢者グループホームで加湿器のコードが原因の火災が起こり、12人が救急搬送され4人の犠牲者がでました。

【建物の定期診断】



これらの機器を正しく使うことは基本的なことですが、残念ながら建物も機器も長年使用していると、いろいろと傷

んでくる所があります。皆さんの健康診断のように、それぞれ必要な時期に定期的な点検を行い、修理をし、更新時期を迎えたものは取り替えていく必要があります。特に電気やガスを使用している機器は、何年も使用すると、特に高熱になる部分が劣化し、急に火災を起こすことがあります。昨日まで何もなかったのに、今日、突然火を噴く、ということが起こるのです。よく診て取替時期を判断し、未然に火災を予防すること。また、各施設をこまめに廻り、職員との何気ない会話の中からも危険を察知し対策して行くことも、施設管理室の大事な役割のひとつです。建築に携わってきた約40年の経験を生かし、皆様の安全・安心を見守ってまいります。皆様の御協力をいただきますように、よろしくお願ひします。ハード面の話ばかりのことを書きましたが、消防訓練もさらに充実させていきます。最後に各施設の建物・設備を自分の家だと思って大切に使ってください。



今回は消防訓練についてのお話をします。

100歳のお誕生日

シヨートいわや

3月1日は室坂マサコ様の100歳を迎えられました。室坂様のご家族もお招きして、みんなで盛大にお祝いの会を開きました。いつもときばきとお元気な室坂様もこの日は少し緊張気味!? 照れくさそうでした。なじみの利用者様からのお祝いの言葉に感激の涙を浮かべていらつやいました。中でも、「室坂さんは、私の第二の母ですー」という男性利用者様の言葉には、会場から大きな拍手が起りました。



今度は室坂様からのごあいさつですが、室坂様、感極まって言葉になりません。そこで息子様が「母



の代わりに、私がお礼のあいさつをさせていただきます。」と、みなさんに感謝のことばをのべられました。

そのあと、お祝いに集まったみなさん、お一人おひとりと握手をして回っていただきました。

「100歳おめでとうございます。」
 「100歳には見えんねえ。」
 「あんなが、一番元気じゃねえ。」
 「私も頑張らないけんねえ。」
 お祝いの言葉のシャワーに室坂様、「家族も感激。」

この最高に素敵で特別な日を、共に過ごさせていただけたと、スタッフ一同とても嬉しいです。いつまでもお元気な、いわやの母でいて下さいね!

(村本雄飛)

お雛様演奏会

3月13日
まやるちよーく

あかりをつけましょぼんぼりに♪ まやるちよーくに明るく楽しい音楽が響きました。この日職員によるお雛様演奏会が開かれました。フルートやリコーダー演奏♪ ハンドベルによる合奏♪ イベントでは恒例のまやる乙女隊による大正琴演奏♪ 『うれしひいな祭り』『早春賦』など季節に合わせた歌を、利用者様方は懐かしそうに口ずさんでおられました。美しい楽器の音色に聴き入ったり、仮装した職員に笑いや拍手が起こったり・・・まやるちよーくには芸達者な職員がたくさんいます!! 楽しい演奏会となりました。

(阿川愛美)



昔の遊びを楽しもう

ショートみどりい



3月14日に利用者様に遊び方を教わりながら一緒にメンコ、けん玉、おじやみ、おはじき、コマ、紙風船を使って昔の遊びを楽しみました。

まずは利用者様に用意した玩具を一つひとつ紹介し、実際に手にとっていたいただきました。おじやみを眺めて「昔はおじやみを自分で作ってよく遊びましたよ。」「てっそう!中に小豆や粟をいれたりしてねえ。きれいな柄になるように考えながら縫っていました。」「昔は3つも4つも投げたりして上手にしたものよ。」と利用者様同士、笑顔で話されていました。メンコは男性利用者様が手にとられ、「懐かしいね。パチン、パチンと良い音がする。」と話されていました。遊ばれているあいだ、みなさんとても真剣な表情で取り組まれました。

紙風船は利用者様同士でお互いに笑



顔で打ちあつて、空気がなくなつてくると息を吹き込んでおられました。おはじきは「私はおじやみよりも、おはじきで遊ぶのが得意だったんですよ。」と嬉しそうに話される方もいらっしゃいました。童心にかえり、笑顔と笑い声の絶えない時間となりました。(大村まい)



素敵な作品をご紹介します!

作品紹介

まやるちょーく

手芸作品『ひな人形』



まやるちょーく手芸作品「雛人形」をご紹介します♪
毎週月曜日の手芸プログラムに参加されている利用者様お一人おひとりが雛人形を制作されました。一つひとつ人形の表情が少しずつ違っていて、とても可愛いお人形になっています♪



まやるちょーく 脇本英信様

【川口先生のメッセージ】
かもしれないが・・・(笑)これからも続けていきたいと思つとるよ。

以前より、友人から絵てがみをもらい、「自分もやってみよう」と思い始めたよ。実際やってみると難しいね。先生と相談しながら作品を作っているよ。出来た絵てがみを友人に送ると、「上手だね。」と言ってくれるよ。お世辞



しゅりあちよーく

木村 貴美江さま



おもしろきかな我が人生



大正11年2月26日(91歳)

しゅりあをととも
楽しみにしています!!

- お住まい: 安佐南区毘沙門台
趣味: 園芸、唄、書道

【幼少の頃】

私は山口県吉敷郡小鯖村一貫野中に生まれました。兄弟は兄・私・妹で、子どもの頃妹とはよく遊んでいました。あの頃は、山に松茸がいっぱいあってね。子どもはシロを壊すから、入ったら叱られよった。子どもでも採つていいのがネズミダケ。きのこを探りに妹と一緒に山にさがりよった。栗もあるし柿もある。小川で妹と魚釣りをしたり、山にあがつて本を読んだり昼寝をしたり。蛍の時期には、橋の上で竹箒を立てて持つて構えてから、蛍を捕まえるの。蛍かごに入れて、ヨモギに露をつけてね。おばあちゃんからは「夜つかまえても、昼には逃がせよ」って。野や山で遊んどつたんよ。小学校は小鯖小学校分教場ちゆうてね。一年生の時に父親が破傷風で亡くなつたんよ。それから、母が叔父と再婚し弟二人が生まれました。

【山口から東京・京都へ】

高等科に入った時、東京の叔父が「うちに来んか」と言ってくれて、東京で暮らすことになつたんよ。山口の家は電灯もついていなくて、兄とランプの火屋(ホヤ)を磨いていたのに、東京は見るもの聞くもの珍しくて珍しくて。おとぎの国とは「の事じゃ」と思いました。勉強もすっかりやろう思つて、毎日毎日、努力して。寝るのが夜中の三時頃の時もあつたんよ。精励賞をもらいました。でも、一年と一学期が過ぎた頃に、叔父さんが病気になるつて、山口に戻りました。山口に戻つて、高等科の途中で、京都の山科にある『鐘紡(カネボウ)』の会社に行くことになりました。寮

に入つて、昼は事務の仕事をして、夜は夜学に通つて。厳しかったんよ。部屋の入り口で、両手をついて「おはようございます」つてするんよ。夜学は二時間しかなかつたけど、楽しくて仕方なかつたですよ。琵琶湖のほとりに桜が植えてあつたの。春は川下りしながら眺めてきれいでした。十六歳の時に「山口に戻れ」つて言われた時、会社のお偉いさんが「結婚せえ、いっことよ」と言われて、帰つてみたらその通りでした。

【結婚】

十六歳十一月で結婚しました。主人は、いい人でした。人が集まるところで「わー」と皆を笑わすような「モア」のある人。でも、十人兄弟の長男だつたの。結婚してから、苦労の連続で。主人の下の弟妹が七人いる、舅・姑と古いおばあちゃんもいて大家族でしたよ。嫁いだら農業はつかり。田んぼは三町歩。二町歩は小作にだして、一町歩を家族全員で頑張つてたんよ。結婚して三年後に、主人が戦争で南方に行つて六年余り帰つて来んかつた。その間、せつかく授かつた長男を三歳で亡くした。もう戦死の公報も来んかつたから、死んだと思つていました。

ある日、和尚さんから「旦那さんが山越して帰つて来るよ」と教えられ、走つて迎えに行きましたよ。その後は、一男二女を授かり、主人とよう働きました。あぜぬりや田んぼの草取りはしんどかつた。牛も私が使つと、馬鹿にしてのろろ動くんよ。田舎には盆踊りがあつて、ひと夏に六〜七回も踊るんよ。一枚だけの浴衣が夜露に濡れてね。学校で踊りを習つて。♪野崎まいり

は「ほいさ」ちゆうて手を打つて。ほかに娯楽がないから、やねこい仕事の間の楽しみよね。その後、防府市に引越してからは、朝の四時半に起きて、野菜を市場に出しに行つたり、夕方、野菜の後片付けをしたら公会堂へ行つたりして、詩吟を習つていました。楽しかつた。

【長女と母】

二〇〇七年に長女がいる毘沙門台に主人と引越してきました。しゅりあのことには長女が聞いてきたんでしようよ。主人と一緒に来ていました。夜眠る前に「明日行けば、皆さんに会える」と、とても楽しみにしています。これからも自宅の一坪農園で色々作つていきたいですね。しゅりあでは、詩吟・民謡と書道が楽しみです。



いつも笑いの中心で、楽しい話題も豊富な木村さんです。四季折々の旬の野菜やお花などに詳しく、いつも教えていただいています。 幾田 千代

若竹句会 二月作品抄 信廣高陽 選 (平成二五年)

手作りの おせち困んで 水入らず 西 富枝

〔寸評〕自分のお家の日常生活(お正月)を俳句に仕立てたものですね。「手作り」と「水入らず」が利いています。

猛威振るう 流感家族と なりにけり 後藤 義高

〔寸評〕インフルエンザの猛威は、学級閉鎖からわが家へと押し寄せてきた。家長としての決心が「なりにけり」につよく表われています。

日記帳 買い損なうた 今年また 石原 守恒

〔寸評〕原句は「今年こそははりきって日記帳買い損ね」となっており、表記のとおり添削してみました。「はりきって」がどうしても入りませんでした。「買い損ね」の用法ではりきった様子が伺えますので表記のようにしました。

アハハハ 今年も元気で 初笑い 綿谷カツエ

〔寸評〕明るい新年の初笑いの一句。中七が八音ですね。「今年も」を「みんな」にしたなら…。要注意!

寒雀 電線借りて 会議中 原田ツヤノ

〔寸評〕原句「電線とまり」は「電線借りて」に添削しました。擬人法で俳句らしくなってきました。

成人の日 何年前に すんだやら 河野 一枝

〔寸評〕「成人の日」は一九四八年(昭和二十三年)に制定された祝日ですので、それ以後に満二十歳に達した人が体験することになります。指折り数えなくてもわかりますね。

白銀の 光り輝く 雪景色 松村キミエ

〔寸評〕「白銀」は、しろがね・ぎん。降り積もった雪のたとえに使います。季語ではありません。

〔選者 吟〕 吉書揚げ 火入れ待つ間の 筆自慢 信廣 高陽

吉書は、書初めのこと。吉書をとんどの火に燃やし、その燃えさしが高く上がるのを腕が上がるしるしとして喜ぶふうも多い。

若竹句会 三月作品抄 信廣高陽 選 (平成二五年)

やや反りし 菱餅子ども 触れてみる 後藤 義高

〔寸評〕原句「ひな段に子どもつどいてひしもちか」傍線の部分が季語重ねになりまので、「ひな段」を削除してみました。紅、白、緑が反り返った様子も目に浮かびます。好奇心を取り上げてみました。

春うらら 幟はためく 祭かな 石原 守恒

〔寸評〕原句「春うらら祭りの幟旗めぐり」の「旗めぐり」は「はためく」が正しい。ばたばたと動くことをいいます。ハタは旗ではなく擬音語です。よって表記のとおり修正しました。春まつりの幟が風でバタバタはためく様子がよく表われています。

ああ酸っぱい でもおいしいな お梅さん 綿谷カツエ

〔寸評〕「お梅さん」は梅干のことだと思えますが、「梅干」は夏の季語です。なかなか面白い、肩のこらない俳句ですね。

水菜採る じゃぶじゃぶ洗い 御浸しに 河野 一枝

〔寸評〕二、三月頃、まだ菜類が乏しい頃に出回り喜ばれる。漬物にすると歯切れがよくて早春の味がする。鍋料理、煮物、浸しものなど用途が多い。この句、水菜洗いの冷たい音が聞こえてくるようです。

梅の花 寒さに耐えて まず一輪 松村キミエ

〔寸評〕「梅一輪一輪ほどの暖かさ 嵐雪(らんせつ)」という有名な句がありますが、この句、一番先に咲いた梅のことを「まず一輪」としました。ふるふる震えながら咲いたことでしょうか。上手に表現されています。

嫁ぐ娘の 幸せ祈る 如月や 西 富枝

〔寸評〕月はじめに立春となるため、陽暦でも春に入りますが、実際の感覚としては、一段と寒気のきびしい季節です。その中にも日脚は次第にのびて明るさを伴い、冬の終わりを告げます。この句、この時節に嫁がれる娘さんの前途を案じて母親としてのやさしい気持ちがよく詠まれています。

〔選者 吟〕 御喋りの 口に鶯餅の粉 信廣 高陽



児童デイサービス『ぱる』のご紹介

はじめまして。4月に開所した児童デイサービス『ぱる』です。あすかに発達に支援が必要な子どもたちの療育を行う場が誕生しました。

『ぱる』は、児童発達支援と放課後等デイサービスの多機能型事業所です。平日午前中は未就学児とその保護者、平日午後と土曜日は小学生が通ってきます。小児科発達外来と連携して、地域の困り感を抱えている子どもとその保護者へのサポートをしていきます。

運動発達や言葉の発達の遅い子どもや、**場所が違くと、相手が変わると、力が発揮できない、集団の中で指示に従えない、ルールを守れない、パニックになる**、など問題とみなされる行動をとってしまう子どもが



ぱるの新しいスタッフです

います。大人の側からすると「どうして!ちゃんとしなさい!」とつい怒ってしまう困った行動でも、子どもの側から考えると「どうしていいのかわからない」困っている姿です。

じっくり丁寧に、どこが困っているのか見極め、その子どもに合った手立てをすることで生活しやすくなり、子どもたちの困っていることが減っていく…を『ぱる』は目指します。

『ぱる』が子どもにとって大切な居場所の一つとなり、保護者にとって良き子育ての相談所となり、親子が自信をつけ、自己肯定感を持つことができるよう、職員一同頑張っていきます。どうぞよろしく願い致します。(伊藤香織)



お問い合わせは下記へ。
高橋内科小児科医院・小児科外来 TEL:082(879)3143



3ページのクイズの答えです。全問正解の人はかなりの博学ですネ☆
①四面楚歌 ②面壁九年 ③遮二無二 ④十人十色 ⑤八方美人 ⑥三日天下 ⑦一期一会 ⑧五穀豊穰 ⑨六根清浄
⑩七転八起 次回はどんな問題にしようかな!? お楽しみに♪

～ 医療法人あすかの経営理念 ～

『感謝 尊厳 謙虚 誇り』

医療法人あすかは、地域の患者様、利用者様との出会いに感謝し、信頼される法人として常に最善の医療、看護、介護を提供することを使命としています。私たちの仕事は、人の尊厳を守り、人の人生によりよい影響を与え、支えていくことです。私たちは、心を込めて仕事をします。私たちは謙虚であり、仕事に誇りを持ち、社会に貢献していくことを喜びとしています。

【編集者のつぶやき】
春です!!と言っても、まだちょっぴり肌寒いですね。お花見行きましたか?わたしは行きましたよ。花粉症なのに…笑さて、あすかには11人のニューフェイスが仲間入りしました☆わたしにもそんな初々しい時期が…も、もちろん、ありましたよ!!新入職員のみなさん、あすかへようこそ☆一緒にがんばりましょう!!

毘沙門クリニック
ショートステイ いわや
デイサービスセンター 野の花

あすか療養センター 緑井3丁目40-30

毘沙門台東1丁目24-16
デイサービスセンター しゅりあちよーく
デイサービスセンター 野ばら

小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

高橋内科小児科医院
デイサービスセンター まやるちよーく
通所リハビリテーション すてっぷ
ショートステイ みどりい

緑井2丁目12-25

リハビリデイ・ポシブルみどりい

緑井3丁目20-1-102

あすか病児保育室

あすか居宅介護支援事業所
082-830-5177

緑井3丁目20-1-103

医療法人あすかの医療・介護関連施設

8